

# 見過ごすと『怖い頭痛』も軽く考えず早めに相談



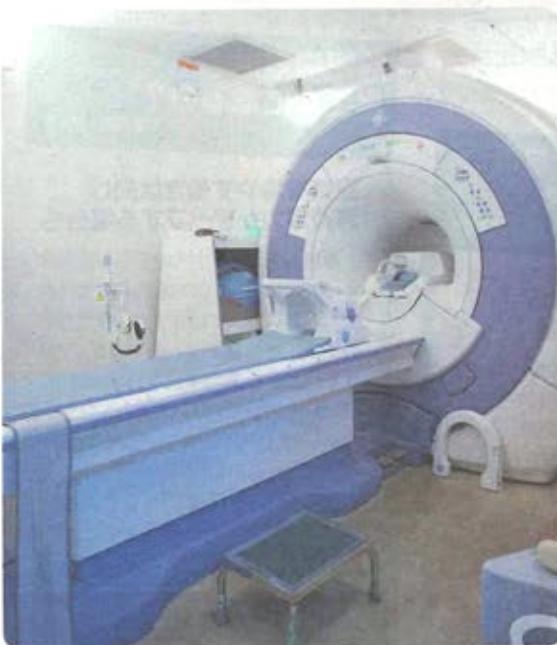
とみた脳神経クリニック院長

富田洋司先生

神戸大学医学部卒業。同大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。2012年11月、とみた脳神経クリニック開院

このような  
症状があれば  
一次性頭痛かも

- 今まで経験したことがないほど痛みが強い
- いつもと様子が異なる
- 痛みの頻度と程度が増していく
- 50歳以降に初発した持続性の頭痛
- 神経脱落症状  
(手足が動かない、しびれる、ふらつく、しゃべりにくいなど)を有する



とみた脳神経クリニック

尼崎市武庫之荘1-18-5、武庫之荘メディカルキューブ1階

☎ 06-6434-1236



写真左・1.5T超伝導MRI装置を設置。脳ドック(標準コース4万2000円)も受け付けています  
同右上・16列マルチスライスCTも導入。MRI検査やCT検査は紹介状なしでも受診可能  
同下・ゆったりとした待合室

頭痛は、日常生活で身近に感じる症状。

でも、頭痛の中には、放置しておくと命にかかるような『怖い頭痛』もあるとか。  
頭痛の種類や対処法について、とみた脳神経クリニック院長・富田洋司先生に聞きました。

## とみた脳神経クリニック

「頭痛には、脳などに異常がないのに起こる『一次性頭痛』と、脳に何らかの原因がある『一次性頭痛』があります」と富田先生。『一次性頭痛』には、「片頭痛」「緊張型頭痛」などが含まれ、精神的・肉体的なストレスも原因にならう。『片頭痛』は、ズキンズキンという拍動型の強烈な痛みが特徴。頭の片側だけだ

「緊張型頭痛」は、頭や首・肩の筋肉が緊張することで発症すると考えられ、精神的・肉体的なストレスも原因にならう。『片頭痛』は、ズキンズキンという拍動型の強烈な痛みが特徴。頭の片側だけだ

「頭痛のタイプに合わせた薬の服用で治療しますが、適度な運動でリラックスしてストレスを軽減することも大切です」

また、「一次性頭痛」では、市販薬を利用する人も多いですが、気をつけたいのが、「薬物乱用頭痛」で

す。薬を過剰に服用する

ことで、脳が痛みに敏感

になり、かえって頭痛の頻度が増えてしまします。

服用方法に注意して利用

しましょう」

命にかかる場合がある、より注意したいの『一次性頭痛』。でも、が、くも膜下出血での頭になるのが、脳卒中(くも膜下出血・脳梗塞)が原因の頭痛です。ですが、軽い頭痛では、風邪の頭痛かな?と思つたり、詰まるところで起きて見過ごしてしまう人の病気で、突然発症するも少なくありません。出血の場合も、一次性頭痛が強くなるのが、脳梗塞による頭痛です。血が少ないときは、それはく疑われるような症状(別項参照)があれば、専門医への受診が必要です。脳出血では、突然の頭痛や意識障害、まひや感覚障害、言語障害など、脳細胞のダメージによる症状が見られる場合が多いもの。脳梗塞も、血栓の閉塞による脳細胞へのダメージにより、同様の症状を伴います。症状だけでは判断しにたいですね。

## 市販薬の過剰な服用に気をつけて

## ● 重症化すると危険な『一次性頭痛』